

伊藤平左衛門ほか帝室技芸員合作
《桑木地飾棚および棚飾品》一式

明治四十年（一九〇七）



33-1 伊藤平左衛門 《桑木地飾棚》一式 桑材 41.7 × 97.5 × 92.2

明治四十年に華族一同から献上された棚と棚飾り品の一式で、当時の帝室技芸員二十五名による合作である。全体の構成と制作の取りまとは東京美術学校へ依頼され、図案の分野で帝室技芸員に任命されていた岸光景と同校教授の島田佳矣がその意匠考案を担当した。島田は東京美術学校が依頼を受けて明治三十八年に完成した画帖形八曲小屏風「綵観」をはじめとし、本作を含め、著名作家による合作の数々を明治から大正期を通じて手がけており、これら合作の作例のうち本作は早い時期に制作された作品である。題材も意匠もそれぞれ異なるが、全体が伝統的な吉祥意でまとめられている。棚は建築の分野で明治二十九年に帝室技芸員に任命された伊藤平左衛門（九代）による。棚飾り品は、献上目録の記載から硯箱に付属する刀子二口は現在その所在を確認できないがこれ以外のものは揃っている。今回その詳細を初めて紹介する画帖はその装丁は川島甚兵衛の綴錦、『古今和歌集』から主題をとり荒木寛畝ほか八名の画家による四季の歌絵八図が収められ、絵の対面に貼り込まれた色紙の装飾も工夫の凝らされたものである。棚と棚飾品一式が帝室技芸員の合作という点で貴重な作品である。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

皇室技芸員と一九〇〇年パリ万国博覧会

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 47

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十年七月十九日発行

© 2008 The Museum of the Imperial Collections